



文化センター駐車場の拡大を

小村 初彦 (公明党)

議員 十和田市民文化センター駐車場の新たな整備・建設並びに当施設正面の公園部分を駐車場にする考えはあるか。

また、駐車場に出入り口を二カ所設けることはできないか。

教育部長 市民文化センターでは、民間有料駐車場を含む周辺駐車場の案内チラシを配布して対応しているが、駐車場不足は、総合体育センターや中央駐車場、西二番町駐車場等を相互利用するほか、(仮称)教育プラザ構想で中央公民館を解体し中央駐車場を拡張する計画があることから解消できると考えている。

市民文化センター広場は、平成十五年度に国の電源立地促進対策交付金事業を活用し、市民憩いの場を目的に整備したた



イベント時の市民文化センター駐車場

め、現状を変更することは交付金の返還も想定される。また、市民の意見も聞きながら検討しなければならぬと考えている。

出入り口は、狭い駐車場内での混乱、事故の危険も想定されるため現在のまま一カ所対応したい。このため、具体策として、市民文化センターでは、イベント等がある場合は主催者に精算機前への係員の配置を依頼し

ており、主催者での対応が困難な場合は指定管理者側で対応するなどの対策を講じている。

「医療観光」に取り組み
考えは

議員 今後の病院経営の取り組みについて、医療と観光をあわせた「医療観光」に取り組んでいく考えはあるのか。

病院事業管理者 当地域には国内でも最も魅力のある観光地があり、トモセラピーでのがん治療を病院の特徴として海外や全国にPRできれば、医療観光に訪れる人もそのまま長く当地に滞在するということが考えられ、ホテルや観光分野への恩恵も大きいと思われる。このことから、受け入れ体制づくりを検討していきたい。

病院の不良債務 全額肩代りの経緯は

野月 忠見 (市政・社民クラブ)



議員 病院事業会計の不良債務を全額肩がわりすることにしたのは病院からの要請か、それとも経営評価委員会で決めたのか。今回の決断をした

市長 病院事業会計は、平成二十一年度決算で資金不足比率が経営健全化法に規定する経営健全化基準である二〇%を超えていることから、個別外部監査で

検証したが、これまでの経営形態の見直しなどではとても及ばないほどの資金不足である。今後も一般財源からの多額の繰り出しが欠かせない状況となっており、仮に一般財源から毎年繰り出ししたとしても、資金不足比率を経営健全化基準未満にすることが精いっぱいであり、過去の不良債務を解消することは到底不可能な状況にある。このことから市内で検討した結果、市に体力がある今なら繰り出しができること、不良債務から生じる利子の支払いを早期に解消することなどを総合的に勘案し、今回不良債務の解消を提案した。

今後国保税の値上げはあるのか

議員 療養給付費等の増大に伴い、毎年五億円近く事業基金から繰り入れしているが、国保の事業基金残高は約一億一千三百万円しかない。平成二十四年度の予算編成は

どうなるのか。国保税を値上げするのか。

市長 現在の国保特別会計は医療費の増大に伴い、単年度四、五億円程度の基金取り崩しを要する事態となっている。平成二十三年度でも約四億円の基金取り崩しを予定しており、その年度末で基金が枯渇することを想定せざるを得ない状況にあることから、平成二十三年度中に税率改正に向けた検討を要すると考えている。他市の状況等の調査も行い、また研究しながら検討していきたい。



国保年金課の窓口

* 2 経営健全化基準：公営企業会計の資金不足比率が経営健全化法に規定する経営健全化基準（20%）以上になると「経営健全化団体」となり、「経営健全化計画」を策定し、公営企業の経営健全化に取り組まなければならない。